

平成27年度決算審査特別委員会

9月12日～13日

委員長 鷲見 悟
副委員長 吉原 哲男

一般会計
特別会計
(6会計)

58億531万9千円
10億6,896万円

決算審査の質疑を、一部要約して掲載します。

一般会計

〈総務費〉

〔質〕空き家・空き地調査で、委託先は何をしたのか。
 〔答〕水道給水状況等から、空き家かどうかを大雑把に抽出し、手入れをして住むことが出来るかを判別した。空き地は宅地を前提に、50㎡以上の面積のものを抽出。

〔質〕生活支援事業のプレミアム商品券が使えない事業者、店舗があった。
 〔答〕商工会に加盟している方が対象となっている。
 〔質〕予算時、当時の課長は「出来るだけ手を広げて、事業者の方に参加していただく」と話していたのに、課ではどのような努力をしたのか。
 〔答〕事業を行うのは商工会であって、商工会に主導権、履行がある。
 〔質〕住民基本台帳の住基カードは、最終的に何枚発行したのか。
 〔答〕最終有効枚数は19枚。
 〔質〕職員研修委託の内容は。
 〔答〕若手職員を対象とした接遇マナー、倫理研修等を2日間実施し、延べ28名参加。
 〔質〕人事評価制度構築の成果と今後は。
 〔答〕地方公務員法の改正で、28年4月以降、地方公務員の人事評価導入が義務付けられた。制度マニュアル、記入マニュアルを構築している。まだ5ヶ月程度しか経っていないので、今後どうしていくか検討していく。

〈衛生費〉

〔質〕がん検診の最終受診率は。
 〔答〕胃がん15・8%、肺がん22・2%、大腸がん24・4%、子宮がん34・3%、乳がん39・4%。
 〔質〕ペットがんでの検診の検討は。
 〔答〕まずは身近な地元で、それぞれの部署で検診していただきたい。
 〔質〕ペット検診の得意な分野にも補助していかないと、がんの死亡率は低くならないのではないか。
 〔答〕高額だということ、遠方だということを考え、今の状況では地元での受診率を上げるべきと思う。
 〔質〕農林水産業費
 〔質〕町有林整備事業で、執行残の減額はなぜか。
 〔答〕9百88万円ほどの減額は、国のお金が付かなかつたため。

〈商工費〉

〔質〕町長の、トナカイ観光牧場のあり方についての今後の考えは。
 〔答〕委託業者も新しくなり、交流人口増加に向けた事業の1つでもあるので、もう

少し知恵を絞り、皆で考えていきたい。
 〔質〕ブルーポピーの状況は。
 〔答〕今は良い状態ではない。良い状態で咲いてた頃に戻す努力をしていきたい。
 〔質〕人に来てもらうことを目的に、議会と行政で考えて行く場を作っては。
 〔答〕議会がまとめて、意見を言っていたらいいと思う。知恵とアイデアはたくさんいただきたい。
 〔質〕中央保育所にあった遊具を、問寒別農村公園に移設して欲しい。
 〔答〕昨年も議会ですうい話があった。再度確認する。
 〔質〕ふれあいの館の下の森林公園の木製の遊具について、その後どうなっているのか。
 〔答〕ふるさとの森森林公園は、今年展望台の整備をした。その他については、今年度中に決めて行きたい。
 〔質〕幌延6号線の整備と、冬場の除雪について考えられないか。
 〔答〕6号線については、路盤も弱く、今までどおり除雪はしない。

〈教育費〉

〔質〕アスペストの分析調査事業ということで68万円ほど支出されているが、調査の本身は。
 〔答〕煙突についても調査が必要となった。幌小と給食セ



〔質〕今までどおり9号線が冬場のあいっている道路ということになると、吹雪の可能性がある。TMRでサイレージを毎日運ぶことになるかと、除雪体制に不安がある。
 〔答〕TMRセンターの利用状況、回数などを協議して進めたい。